

第20回 天敵利用研究会プログラム(案)

於:熊谷市立文化センター文化会館

* 筆頭者以外の所属等は略すことがあります

11月11日(木)

13:00～13:10 開 会
挨拶

一般講演

13:10～13:25

- 1 生態系サービス活用を目指した捕食者群集の持続性向上
○大野和朗・市川大輔・山本希枝(宮崎大学農学部)・三宅伸男・中野昭雄

13:25～13:40

- 2 "アブラムシ捕食性ヒラタアブ類の発生源としての周辺雑草の有効性評価"
○市川大輔・大野和朗(宮崎大学農学部)

13:40～13:55

- 3 奈良県のナス栽培における天敵利用の取り組み
○井村岳男・神川諭・松村美小夜・國本佳範(奈良県農業総合センター)

13:55～14:10

- 4 ソルガム障壁を補完するための麦類の障壁作物としての品種比較
○星野 滋・保科 亨・松浦昌平(広島県立総合技術研究所農業技術センター)

14:10～14:25

- 5 ここまでわかったスワルスキー
～鹿児島県志布志市の冬春ピーマンにおける放飼事例と導入後の産地の変化～
○柿元一樹(鹿児島県大隅地域振興局)・他6名

14:25～14:40

- 6 ここまでわかったスワルスキー
～スワルスキーカブリダニ放飼ほ場における捕食性ダニ類の種構成～
○山本希枝・大野和朗(宮崎大農)・柿元一樹・中尾知子・小濱美弘

14:40～14:55

- 7 施設キュウリの黄化えそ病対策としての天敵利用の一事例
松本 宏司(高知県中央西農業振興センター)

14:55～15:10

- 8 スワルスキーカブリダニに対する数種殺虫、殺菌剤、展着剤の影響
○宮田将秀(宮城県農業・園芸総合研究所)・山中聡・原田幸治郎

15:10～15:25

- 9 わが国における害虫の天敵としての寄生蜂の同定体制ー現状と問題点
広瀬 義躬(九州大学)

15:25～15:35

休 憩

テーマ講演

第一部 カブリダニの利用:その現状と将来性(座長:本多健一郎)

15:35～16:05

- 001 キイカブリダニのバンカー利用などカブリダニ類を用いた害虫防除について
古味一洋(高知県農業技術センター)

16:05～16:35

- 002 カブリダニを利用したイチゴ栽培
畠山 修一(埼玉県春日部農林振興センター)

第二部 植生を活用した害虫管理(座長:大野 和朗)

16:35～17:05

- 003 リビングマルチとカバークロープを利用した害虫と雑草の管理技術
山下伸夫・小林浩幸(東北農業研究センター)

17:05～17:35

- 004 害虫管理における植生管理の重要性
根 本 久(埼玉県農林総合研究センター 水田農業研究所)

18:00～20:00

懇親会(マロウドイン熊谷)

11月12日(金)

一般講演

9:15 ~ 9:30

1 施設栽培ピーマンにおけるヒラズハナアザミウマおよびタバココナジラミに対するコムドリチビトビカスミカメの防除効果

○貴島圭介, 大野 豪, 喜久村智子(沖縄県農業研究センター)

9:30 ~ 9:45

2 促成ピーマンにおける土着天敵タバコカスミカメ利用技術の改良

松木 尚志(高知県安芸農業振興センター)

9:45 ~ 10:00

3 ほうれんそう圃場の土着トゲダニ相および発生消長

斉藤美樹(北海道立総合研究機構 上川農業試験場)

10:00 ~ 10:15

4 ホウレンソウケナガコナダニの加害に関連する圃場における諸要素

坂田 勲(岐阜県病害虫防除所)

10:15 ~ 10:30

5 アブラバチの寄生活動に伴うジャガイモヒゲナガアブラムシの落下現象

○太田 泉・本多健一郎(野菜茶業研究所)

10:30 ~ 10:45

6 シュンギクとエンサイの有機栽培施設における害虫の発生と天敵の利用

○長坂幸吉、杜建明、守屋成一(中央農業総合研究センター)

10:45 ~ 11:00

7 土着天敵を核としたイチゴ育苗期におけるIPM体系の検討

○柳田 裕紹、森田 茂樹(福岡県農業総合試験場)

11:00 ~ 11:15

8 チリカブリダニとアカリタッチ乳剤を用いた施設イチゴのハダニ防除実証試験

○森光太郎・福森庸平・今井修・平野耕治・喜多邦弘・村上薫
(石原産業株式会社 中央研究所)

11:15 ~ 11:30

休憩

11:30 ~ 11:45

9 ハダニ防除を事例に天敵と併用する選択性化学農薬の利用法についての検討

○平野 耕治・森 光太郎・福森 庸平(石原産業株式会社 中央研究所)

11:45 ~ 12:00

10 各種薬剤のアカメガシワクダアザミウマへの影響評価試験

○大朝 真喜子・平野 耕治(石原産業株式会社 中央研究所)

12:00 ~ 12:15

11 天敵利用3年目ーケイ素の実態調査

○関塚知己、新妻成一(神奈川県農業技術センター)

12:15 ~ 12:30

12 "遺伝的に飛翔能力を欠くナミテントウにおける品質管理法の開発"

○世古 智一・三浦 一芸(近畿中国四国農業研究センター)

12:30 ~ 12:45

13 飛ばないナミテントウの2齢幼虫と成虫に対する各種薬剤の影響

○安達鉄矢・柴尾 学・田中 寛(大阪府環境農林水産総合研究所)・伊藤健司
・手塚俊行・世古智一

12:45 ~ 13:00

14 トマトツメナシコハリダニの渡り線(株間移動促進資材)

○田中寛・安達鉄矢・柴尾 学(大阪府環境農林水産総合研究)・北村登志雄*・本多健一郎*

13:00 ~ 13:15

15 カスミカメムシ2種の水田発生動態に影響を及ぼす周辺環境および雑草地管理状況

○安田美香・武田藍・安田哲也・光永貴之・渡邊朋也(中央農業総合研究センター)